資料７；大連日本人学校　授業実践例（中学校）

指導者　　佐藤　哲也

学年	中学部１年	教科	理科
単元名	鉱物紹介		
活用する ICT	PC（Ding Talk)、ロイロノート		

本時の目標

〇岩石や鉱物への興味・関心を高める。

本時の展開

過程	学習活動	指導の工夫
導入 展開 終結	１．本時の授業の流れの説明 ２．興味のある「鉱物」を調べる ３．発表資料の作成 ４．全体発表 ５．まとめ 	・生徒が調べやすいテーマを設定すること ・具体的な発表例を示すこと ・全体発表の場面では、画面の共有機能を使う

成果

生徒はこれまで「世界の火山」「日本の火山」「鉱物」について、調べ学習を行い、その都度全体への発表会を行ってきた。これまでの学習を通して発表内容、発表資料など工夫する姿が見られるようになった。

この他にもロイロノートを使って、「回答」の回収、「授業の感想」の回収などを行っている。書き込みをして返事ができるなど、オンライン授業でも生徒と関わることができるツールとして大いに役立っている。